

平成29年産びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量

びわの収穫量は前年産に比べ82%増加、
おうとうは同4%減少、うめは同6%減少

【調査結果の概要】

1 びわ

全国の結果樹面積^(注)は1,240haで、前年産に比べ90ha(7%)減少した。

収穫量は3,630t、出荷量は2,950tで、前年産に比べそれぞれ1,630t(82%)、1,330t(82%)増加した。

2 おうとう

全国の結果樹面積は4,360haで、前年産に比べ60ha(1%)減少した。

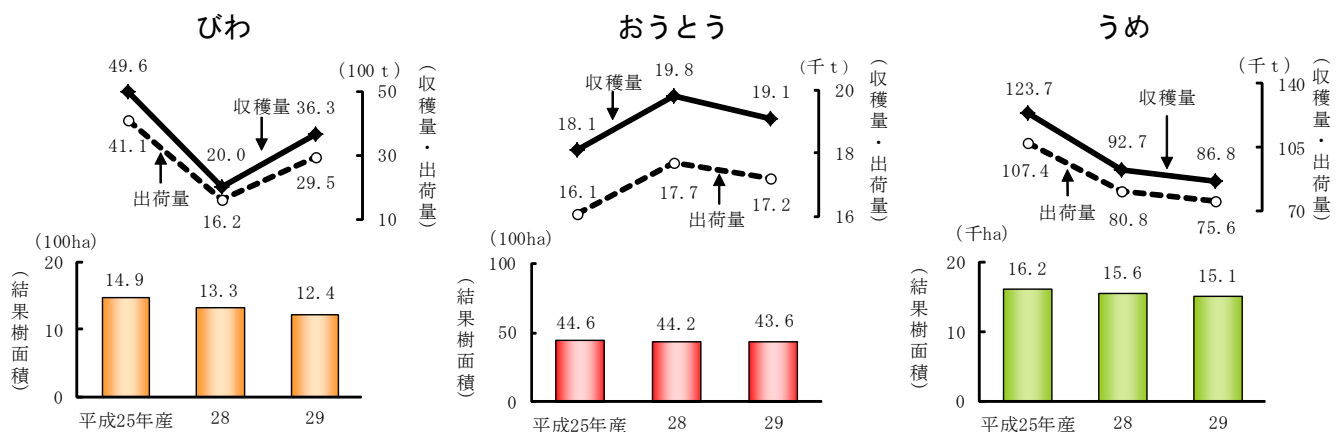
収穫量は1万9,100t、出荷量は1万7,200tで、前年産に比べそれぞれ700t(4%)、500t(3%)減少した。

3 うめ

全国の結果樹面積は1万5,100haで、前年産に比べ500ha(3%)減少した。

収穫量は8万6,800t、出荷量は7万5,600tで、前年産に比べそれぞれ5,900t(6%)、5,200t(6%)減少した。

図1 びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量(全国)



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y5】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

1 びわの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 20 年産	1,710	416	7,110	5,780
21	1,680	396	6,650	5,410
22	1,630	350	5,700	4,680
23	1,600	331	5,300	4,350
24	1,550	209	3,240	2,660
25	1,490	333	4,960	4,110
26	1,450	311	4,510	3,660
27	1,400	255	3,570	2,900
28	1,330	150	2,000	1,620
29（概数）	1,240	293	3,630	2,950

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』（2及び3の統計表において同じ。）

2 おうとうの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

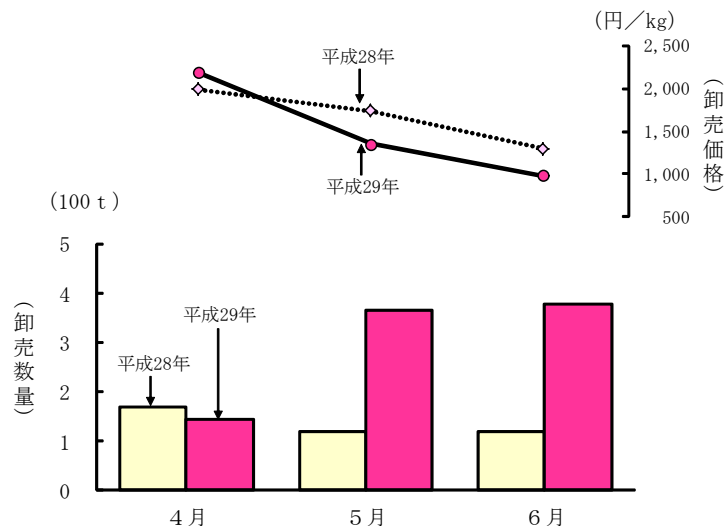
区 分	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 20 年産	4,490	379	17,000	15,000
21	4,450	373	16,600	14,700
22	4,470	441	19,700	17,500
23	4,440	459	20,400	18,000
24	4,440	401	17,800	15,900
25	4,460	406	18,100	16,100
26	4,460	426	19,000	17,000
27	4,440	408	18,100	16,300
28	4,420	448	19,800	17,700
29（概数）	4,360	438	19,100	17,200

3 うめの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 20 年産	17,400	695	121,000	103,600
21	17,100	674	115,200	99,700
22	16,900	547	92,400	79,700
23	16,600	644	106,900	92,700
24	16,400	549	90,000	78,100
25	16,200	764	123,700	107,400
26	16,200	688	111,400	97,100
27	15,900	616	97,900	85,000
28	15,600	594	92,700	80,800
29（概数）	15,100	575	86,800	75,600

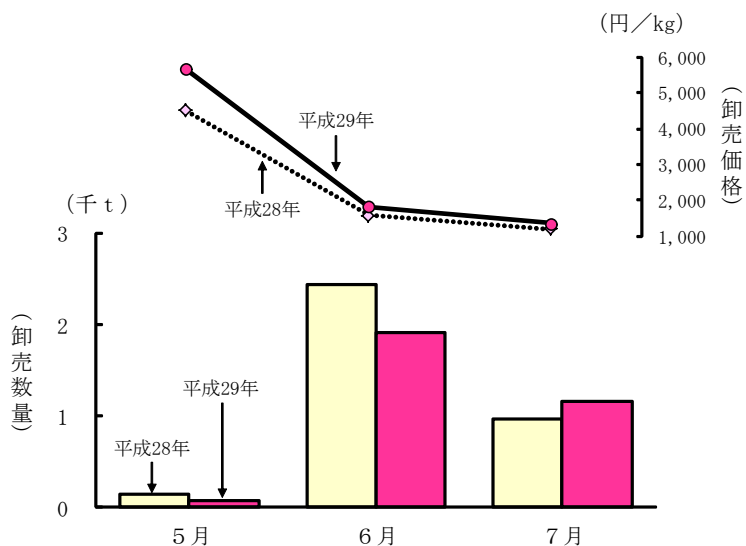
◎ 関連データ

1 びわの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）

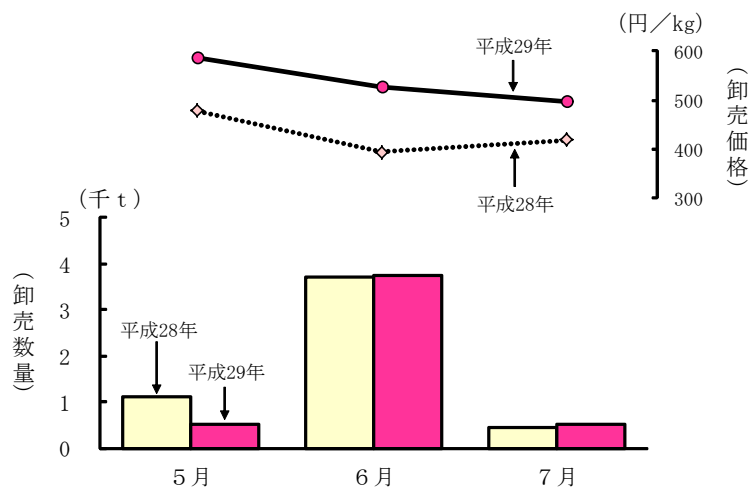


資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」
 （2及び3のグラフにおいて同じ。）
 注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を加算し算出したものである（2及び3のグラフにおいて同じ。）。

2 おうとうの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）



3 うめの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）



【調査結果】

1 びわ

(1) 結果樹面積は1,240haで、前年産に比べ90ha（7%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

(2) 10a当たり収量は293kgで、前年産に比べ143kg（95%）上回った。

これは、低温及び降雪の影響により果実の凍死があった前年産に比べ、おおむね天候に恵まれ順調に生育したためである。

(3) 収穫量は3,630t、出荷量は2,950tで、前年産に比べそれぞれ1,630t（82%）、1,330t（82%）増加した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、長崎県が29%、千葉県が15%、香川県が8%、鹿児島県が8%となっており、この4県で全国の6割を占めている。

図2 びわの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

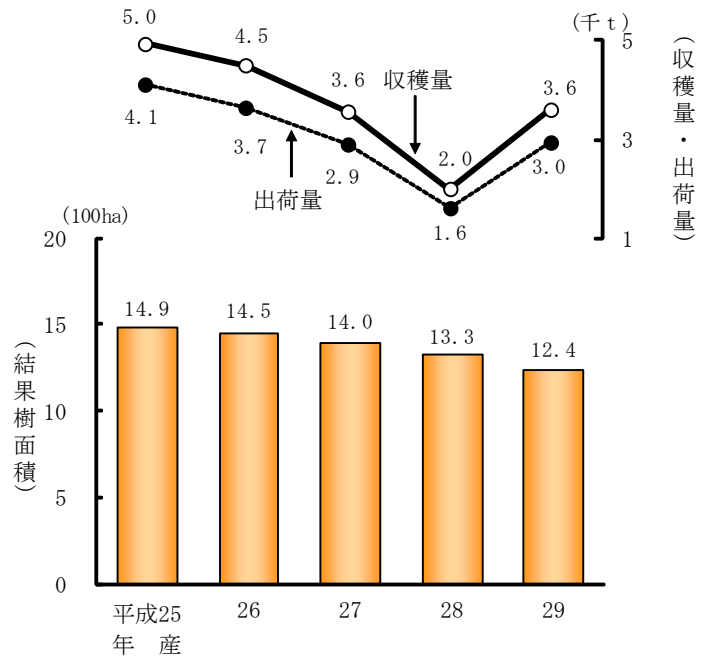
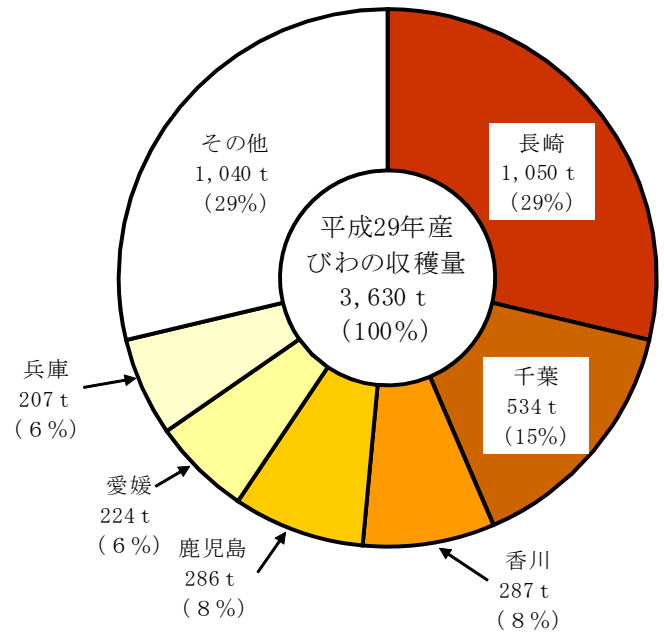


図3 びわの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表1 平成29年産びわの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
びわ	1,240	293	3,630	2,950	93	195	182	182

2 おうとう

- (1) 結果樹面積は4,360haで、前年産に比べ60ha（1%）減少した。
- (2) 10a当たり収量は438kgで、前年産に比べ10kg（2%）下回った。
- (3) 収穫量は1万9,100t、出荷量は1万7,200tで、前年産に比べそれぞれ700t（4%）、500t（3%）減少した。
- (4) 都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約8割を占めている。

図4 おうとうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

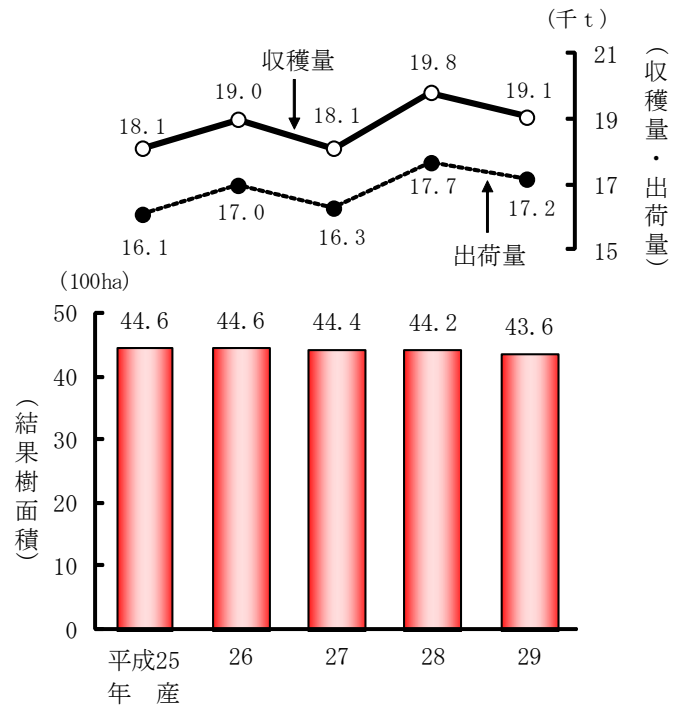


図5 おうとうの都道府県別収穫量

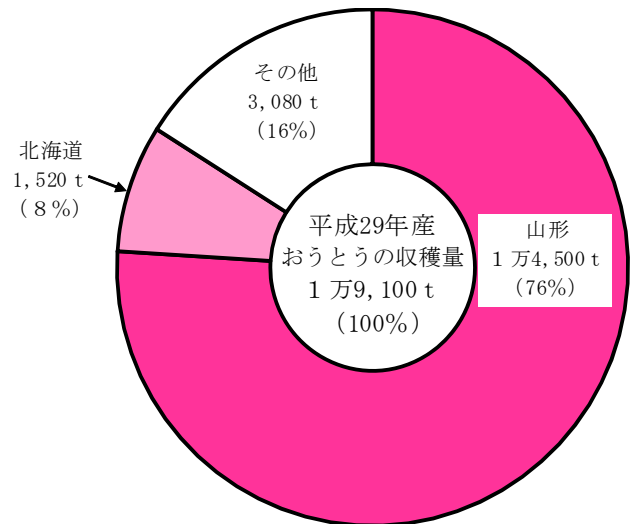


表2 平成29年産おうとうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
おうとう	4,360	438	19,100	17,200	99	98	96	97

3 うめ

- (1) 結果樹面積は1万5,100haで、前年産に比べ500ha（3%）減少した。
- (2) 10aあたり収量は575kgで、前年産に比べ19kg（3%）下回った。
- (3) 収穫量は8万6,800t、出荷量は7万5,600tで、前年産に比べそれぞれ5,900t（6%）、5,200t（6%）減少した。
- (4) 都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が全国の約6割を占めている。

図6 うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

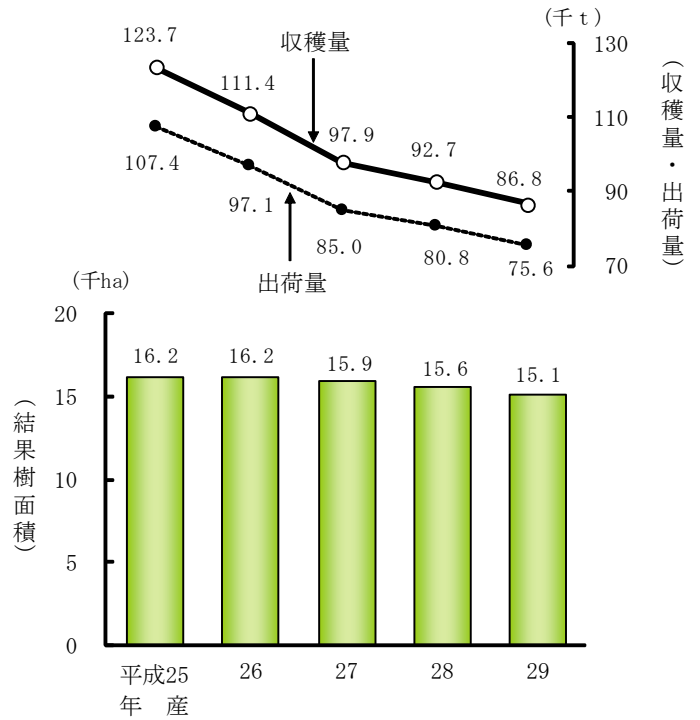


図7 うめの都道府県別収穫量

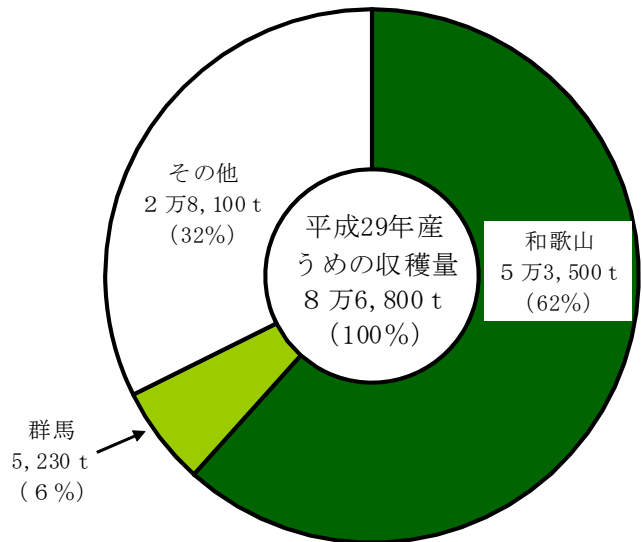


表3 平成29年産うめの結果樹面積、10aあたり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10aあたり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10aあたり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
うめ	15,100	575	86,800	75,600	97	97	94	94

【統計表】

1 平成29年産びわの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 都道府県	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	1,240	293	3,630	2,950	93	195	182	182
うち 千葉	154	347	534	506	98	127	124	125
兵 庫	43	481	207	180	100	221	220	247
和 歌 山	40	487	195	168	93	416	390	480
香 川	74	388	287	233	97	128	125	125
愛 媛	71	316	224	189	99	172	170	170
高 知	34	346	118	78	nc	nc	nc	nc
長 崎	432	243	1,050	919	91	238	218	222
熊 本	33	255	84	58	nc	nc	nc	nc
大 分	54	315	170	110	nc	nc	nc	nc
鹿 児 島	131	218	286	208	93	279	260	251

注：1 調査は、平成26年（全国調査年）の全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県（主産県）を対象に実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した（以下同じ。）。
2 平成29年産より、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を、出荷量から栽培面積に変更した（以下同じ。）。

2 平成29年産おうとうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 都道府県	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	4,360	438	19,100	17,200	99	98	96	97
うち 北海道	496	306	1,520	1,440	99	99	98	99
山 形	2,870	504	14,500	13,000	99	97	97	97
山 梨	304	385	1,170	1,110	nc	nc	nc	nc

3 平成29年産うめの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 都道府県	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	15,100	575	86,800	75,600	97	97	94	94
うち 宮 城	414	347	1,440	807	nc	nc	nc	nc
福 島	408	223	910	355	nc	nc	nc	nc
茨 城	440	187	823	602	nc	nc	nc	nc
栃 木	273	334	912	783	nc	nc	nc	nc
群 馬	967	541	5,230	4,720	96	116	111	117
埼 玉	304	325	988	807	nc	nc	nc	nc
千 葉	280	192	538	161	nc	nc	nc	nc
神 奈 川	365	361	1,320	1,150	nc	nc	nc	nc
福 井	492	217	1,070	968	99	99	98	98
山 梨	392	273	1,070	932	nc	nc	nc	nc
長 野	441	411	1,810	1,370	nc	nc	nc	nc
静 岡	234	335	784	457	nc	nc	nc	nc
愛 知	340	233	792	317	nc	nc	nc	nc
三 重	251	661	1,660	1,180	nc	nc	nc	nc
奈 良	308	619	1,910	1,810	93	107	99	99
和 歌 山	5,000	1,070	53,500	51,700	99	90	89	89
広 島	291	240	698	164	nc	nc	nc	nc
山 口	235	205	482	230	nc	nc	nc	nc
徳 島	135	326	440	323	96	152	146	130
福 岡	296	387	1,150	821	nc	nc	nc	nc
大 分	258	448	1,160	792	nc	nc	nc	nc
鹿 児 島	226	297	671	437	nc	nc	nc	nc

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業災害補償法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており（直近では平成26年産）、その中間年に当たる本年産にあつては、調査対象品目ごとに、平成26年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

なお、平成29年産より、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を、出荷量から栽培面積に変更した。

(2) 調査対象者の選定

ア 関係団体調査（全数調査）

主産県において、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培し、関係団体以外に出荷した農林業経営体から無作為に抽出をした。

なお、都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割を超える場合は、調査を行わない。

(3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
びわ	61	58	95.1	1,358	390	28.7	232	59.5
おうとう	90	75	83.3	5,923	304	5.1	177	58.2
うめ	136	110	80.9	9,691	1,917	19.8	1,190	62.1

注：「有効回収数」は、回収があったもののうち、当年産において栽培がなかった標本経営体等を除いた数である。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び自家用、無償の贈与の量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
びわ	平成29年5月～6月
おうとう	平成29年5月～7月
うめ	平成29年6月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復

郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10 a 当たり収量を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに結果樹面積を乗じて算出している。

出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた出荷率等を基に算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った平成26年産の調査結果に基づき次により推計した。

ア 結果樹面積

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

(注)「栽培面積」は、農林水産省大臣官房統計部が平成29年10月に公表した「平成29年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）」による。

イ 収穫量及び出荷量

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \frac{\text{平成26年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{平成26年産の主産県値}}$$

7 実績精度

本調査の収穫量に係る調査結果（主産県計）の実績精度（標準誤差率の推定値）は次のとおりである。

区 分	標準誤差率(%)
び わ	3.5
おうとう	1.9
う め	2.3

8 用語の解説

- (1) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (3) 出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量等を差し引いた重量をいう。

9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数（下から）		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- (2) 表中に用いた記号は、次のとおりである。
「nc」：計算不能

- (3) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成29年産びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（平成30年12月予定）するとともに、その後刊行する『平成29年産果樹生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。

【http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y5】

【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 園芸統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3680

（直通）03-6744-2044

F A X： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

F A X： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口

(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>